

第3回SDGsエコフォーラムin埼玉

申込用紙

必要事項をご記入またはチェック☑のうえ、メール又はFAXにてお申込みください。

個人情報、特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉の「個人情報保護規定」に基づいて管理し、名簿整理・受付確認・フォーラムに関する情報提供のみに使用します。また、当日はメディア・広報用カメラが入り、撮影した写真等は関係団体等のHP等に掲載させていただく場合があります。

E-mail : goto@kannet-sai.org FAX:048-749-1218

私は、環境省の国民運動「COOL CHOICE (クールチョイス)」に賛同し、行動することを宣言します。

COOL CHOICE とは、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、地球温暖化防止に役立つあらゆる「賢い選択」を実践していく国民運動です。あなたの宣言をお待ちしています。

お名前	ふりがな	ご所属
TEL		E-mail
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン <small>(※後日、参加方法をお送りしますので、必ずE-mailをご記入ください。なお、全体会はZoomウェビナー、分科会はZoomミーティングを使用します。通信料はご負担ください。)</small>	

参加又は希望する箇所に☑をお願いします。定員に達し、ご参加いただけない場合はご連絡いたします。

全体会 (10:00 ~ 11:50)

- 基調講演「身近に迫る気候危機と防災」
 鬼頭 昭雄氏 (一般財団法人気象業務支援センター 研究推進部 研究員)
 ・SDGsスピーチ
 ・埼玉県地球温暖化防止活動推進員 感謝状贈呈式

分科会 (13:15 ~ 16:30) いずれかに☑をお願いします。※会場定員各 30 名、オンライン定員各 100 名

- つくる責任 つかう責任
 地球と暮らしのミライを考える日
 再生可能エネルギーによる地域脱炭素づくり
 若者が創造する脱炭素な未来
 生物多様性

報告書について (希望される方には、令和4年3月下旬に送付します)

希望する ※送料 (300 円) は受付時にお支払いください。
オンライン参加者には、原則着払い (送料 300 円程度) で送付します 希望しない

送付先住所 〒

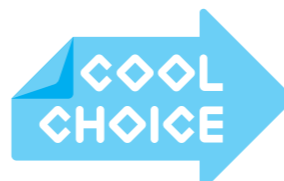
宛名

様宛

問い合わせ
連絡先

第3回SDGsエコフォーラムin埼玉実行委員会事務局

(埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉)
 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階
 TEL : 048-749-1217 (平日9:00 ~ 16:50) FAX : 048-749-1218 URL : <https://www.kannet-sai.org/>



第3回 SDGsエコフォーラムin埼玉

つながろう 広がろう 世代を超えて

エコの環

日時 2021年12月12日(日) 10:00 ~ 16:30

会場 ソニックシティビル & オンライン

参加 無料 ※報告書が必要な方は送料をご負担ください

SDGsエコフォーラムin埼玉は、「環境まちづくりフォーラム・埼玉」「低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」の実績を継承し、持続可能な社会の構築を見据えた新たな取組としてスタートし今年度で3回目を迎えます。県内において環境を中心とする活動を実践している団体、企業、行政、教育機関、地球温暖化防止活動推進員等が一同に会し、情報交換、相互交流、情報発信等を通じてSDGsの達成に寄与することを目的とします。

- 主催 第3回 SDGsエコフォーラムin埼玉実行委員会
 共催 埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、
 埼玉グリーン購入ネットワーク、パルククラブ21埼玉
 後援 埼玉県、さいたま商工会議所、埼玉経済同友会

会場参加のご注意

ご来場の際は、マスク着用のうえ、受付にて検温・手指消毒等の感染対策にご協力ください。なお、ご自身及び同居人や身近な方に風邪症状がある場合は、ご参加をお控えください。当日、風邪症状が疑われる場合は、ご参加をお断りする場合があります。なお、感染拡大状況によっては、ご参加方法を調整させていただく場合があります。

※環境省「令和3年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」及び公益財団法人サイサン環境保全基金を活用して開催します



プログラム予定

10:00 ~ 10:10

挨拶

会場：4階市民ホール

10:10 ~ 11:10

基調講演「身近に迫る気候危機と防災」

鬼頭 昭雄氏

(一般財団法人気象業務支援センター 研究推進部 研究員)



講師プロフィール

1975年京都大学理学部卒。1978年京都大学大学院理学研究科博士後期課程中退。1978年気象庁入庁。京都大学理学博士。気象庁気象研究所気候研究部部長、筑波大学生命環境系主幹研究員を経て、現在、一般財団法人気象業務支援センター研究推進部研究員。気象庁気象研究所客員研究員。専門は気候変動、モンスーン、地球温暖化。約30年にわたり、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第1作業部会第2次～第5次評価報告書(自然科学的根拠)及び第2作業部会第6次評価報告書(影響、適応及び脆弱性)の執筆責任者を務める。著書に『異常気象と地球温暖化 未来に何が待っているか』(岩波新書)など。

11:10 ~ 11:30

SDGsスピーチ

11:30 ~ 11:50

埼玉県地球温暖化防止活動推進員 感謝状贈呈式

11:50 ~ 13:15

休憩

13:15 ~ 16:30

分科会 ※5つの分科会を同時開催します

会場：4又は6階会議室

- ・ つくる責任 つかう責任
- ・ 地球と暮らしのミライを考える日
- ・ 再生可能エネルギーによる地域脱炭素づくり
- ・ 若者が創造する脱炭素な未来
- ・ 生物多様性

各会場は、事前にホームページに掲載しますので、事前にご確認のうえご来場ください。

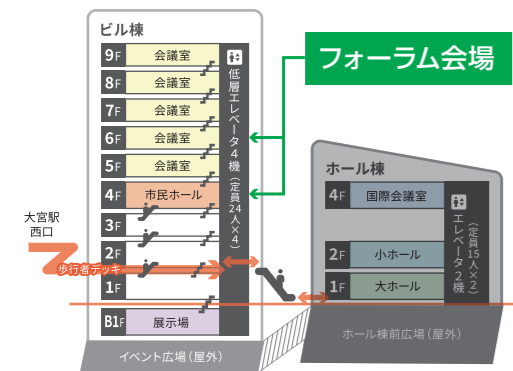
会場アクセス

ソニックシティビル

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

●電車でお越しの方

JR「大宮駅」西口より徒歩5分



※4階市民ホールへは、エスカレーターをご利用ください。
※6階会議室へは、低層エレベーターをご利用ください。
※公共交通機関をご利用ください。



分科会紹介

形式：講義+フロアディスカッション

つくる責任 つかう責任

～ビジネスで社会課題を解決しよう！ソーシャルビジネス・SDGs経営の普及を目指して～

12 つくる責任
つかう責任



SDGsの目標達成には、企業の取組とそれを支持する消費者の取組が不可欠です。そこで、社会課題の解決を目的として登場したソーシャルビジネスや、今、積極的にSDGs経営に取り組む企業の事例から課題を共有し、ビジネスで社会課題を解決していく取組のさらなる普及を目指して、参加者で議論し、情報発信します。

形式：講義+パネルディスカッション

地球と暮らしのミライを考える日

～3年後のわたしへ～

11 住み続けられる
まちづくりを



なぜ省エネするのか？私たちは環境の変化に気づかなかつたり、受け入れなかつたりします。このような変化の一つに気候変動があり、すでに世界中で健康や安全に深刻な影響を与えつつあります。身近な未来、気候危機は対岸の火事ではなく自分事に！現状を知り、取組は小さくとも暮らしの中に、次のアクションを生み出すきっかけにしましょう。

形式：講義+フロアディスカッション

再生可能エネルギーによる地域脱炭素づくり

～民間活力による地域の再生エネルギー導入促進を考える～

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



地域脱炭素ロードマップやエネルギー基本計画等で、国の再エネ導入への目標値や仕組みは示されましたが、脱炭素社会を早期に実現していくためには、民間の力による迅速で実践的な取組も求められます。埼玉県において再エネ導入がCO2削減ばかりでなく、災害時の電源確保や地域経済の活性化等にいかに関与できるのか参加者と共に考えます。

形式：発表+ワークショップ

若者が創造する脱炭素な未来

～カーボンニュートラルを実現するための社会を考える～

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



30年後には日本国の中心メンバーとして社会を担うであろう今の若者たちが考えるカーボンニュートラルな社会について、様々な主体が集ってワークショップを行います。若者の考えを聞き、これを受けて私たちの未来の暮らしやまちづくりについて議論を交わします。世代間を超えた交流を経て、今後の実現可能性に向けてぜひ若者と一緒に議論しましょう。

形式：講義+フロアディスカッション

生物多様性

～生態系を活用した地域づくりと防災・減災～

15 陸の豊かさも
守ろう



気候変動の進行に伴い、経験のない極端な気象現象が各地で想定を超える規模の自然災害を発生させています。人間の活動が気候変動の要因と断定されています。気象災害リスク低減には、インフラ整備と適切な生態系保全を図ることが重要です。環境保全・治水・災害対策に関わる様々な地域づくり活動を学び、一緒に考える機会にしたいと思います。

※ワークショップ形式は、会場での参加をお勧めしますが、感染拡大状況によってオンラインに移行いただく場合があります。予めご了承ください。